

2021年7月21日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

当社電磁開閉器における第三者認証登録内容に関する件（第2報）

三菱電機株式会社は、当社の名古屋製作所 可児工場（岐阜県可児市）が製造する電磁開閉器^{※1}の一部機種の一部の部品において、米国の第三者安全科学機関である Underwriters Laboratories (以下、UL) に認証登録された材料とは異なる材料を使用していた件（以下、不適合。初回公表5月7日）に関し、調査を継続してまいりましたが、この中で、同工場が製造した別の機種において、新たに同様の不適合が判明しましたのでお知らせします（下記参照）

※1 モーターや照明などへの電気の供給を入り切りする電磁接触器と、過電流によるモーターの焼損を防止する保護機器（サーマルリレー）を組み合わせた機器

お客様や関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしていることを、あらためて深くお詫び申し上げます。

名古屋製作所 可児工場で判明しているこれら事案につきましては、今後は、7月2日に設置した調査委員会（委員長：西村あさひ法律事務所 木目田 裕、7月2日^{※2}および7月21日^{※3}公表資料参照）が引き継いで調査を進め、同委員会での調査結果がまとまり次第、その原因、再発防止策と合わせて公表する予定です。

※2 2021年7月2日公表「当社の品質風土改革に向けた取り組みについて」
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2021/0702-a.html>

※3 2021年7月21日公表「調査委員会の委員決定について」
<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2021/0721-a.pdf>

なお、現時点では、この不適合に起因する事故は確認されておりません。また、機能・性能・安全性に関しては、当社基準において問題がないことを確認しております。

・対象機種（5月7日時点）

	機種名	型番	不適合品の製造期間	出荷台数
(1)	MS-T シリーズ 電磁開閉器オプション 補助接点ユニット	UT-AX2	2013年10月～2021年4月	約82万台
		UT-AX4	2013年1月～2021年4月	約52万台
(2)	MS-T シリーズ 電磁継電器	SR-T9 ^{※4}	2013年1月～2021年4月	約25万台
		SRD-T9 ^{※4}	2014年10月～2021年4月	約49万台
		S-2×T32 ^{※4}	2013年1月～2021年4月	約7万台
		SD-2×T32 ^{※4}	2014年10月～2021年4月	約150万台

・追加対象機種（5月7日以降7月21日時点までに判明したもの）

(3)	MMP-T シリーズ マニュアルモータスタータ ^{※5}	MMP-T32	2013年4月～2021年4月	約14万台
-----	--	---------	-----------------	-------

(1) (2) は、形名末尾に「BC」「SA」等（「SQ」除く）を付加している特殊仕様品を含みます。
上記機種 (1) (2) (3) は、JIS 規格に適合しております。

※4 UT-AX4 との組合せ機種

※5 配線用遮断器とサーマルリレーの機能を一体化した機器

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 名古屋製作所 可児工場 電磁開閉器対策室
TEL 0120-533-229 [受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）]
FAX 0120-779-660
E-Mail Meiden.Kani@ny.MitsubishiElectric.co.jp

報道関係者様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 広報部
TEL 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431

以上